

協働して天気の変化の規則性を発見する

子どもたちは3日間の空の様子を撮影し、あわせて日本各地の天気、雨雲の分布、アメダスの降水量の図をスクールタクトに貼り付けています。これらのデータをもとに天気の変化の規則性を自分たちの力で追究していきます。

探求の方法はそれぞれですが、友だちのアイデアでいいなあと考えたものはどしどし取り入れて学習を進めていきます。オンラインで参加している友だちとも話し合いながら全員で取り組んでいました



①あらかじめ収集したデータをもとに「雲は日によってどのように動き、それにとまって天気はどのように変わるだろうか」という学習問題に取り組みます。



②3日間の観測記録とアメダスなどの情報をもとにiPadのSplit View(2つアプリを画面に同時に表示・操作する機能)を使って自分の考えをまとめていきます。



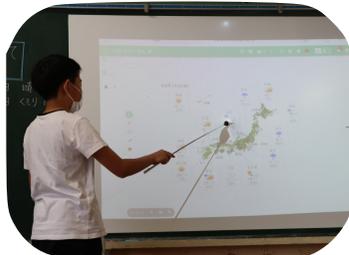
③様々な情報を時系列で並べることによって、わかりやすくなるのではと考える子があらわれると「共同閲覧」に共有され、さらに工夫する子も現れました。



④「共同閲覧」で気になった友だちの意見を聞いたり、自分の考えを伝えたりしながら、追究していきます。そのつど、自分の考えが深化していきます。



⑤オンラインで参加している友だちとも、スクールタクトを介して意見交換をすることができました。教室の子どもたちと同じように学習が進められていました。



⑥授業のまとめの場面です。「雲が西から東に向かって動いている」「天気は西から東の方へ変わっている」ことを自分のことばでクラスの仲間へ伝えていました。

手良小学校 5年 有賀祥子 先生の実践をもとに推進センターで編集させていただきました

schoolTakt お気に入りの授業

お手本には6つのポイントが

毎時間の作品を貼り付けます

6つのポイントについて個人、先生、お友だちが評価します

スクールタクトを使うと今までの授業がより充実したものに生まれ変わります。授業を提供していただいた有賀先生にこれまでに実施した授業の中からお気に入りの授業を紹介していただきました。

紹介いただいたのは「書写」の授業です。この授業で子どもたちは自分の書いた作品を撮影してスクールタクトに貼り付けます。先生が「共同編集モード」に切り替えると、「貼り付け」られた友だちの作品を見合うことができます。お手本の6つのポイントを個人、先生、友だちが評価します。この評価をもとに自分で練習を繰り返すことができます。先生は適切で丁寧な机間指導を行うことができます。

また、左側には時系列でこれまでの作品と評価が並びますので子どもも先生も個人の成長の様子を実感することができます。

この実践は昨年度の情報担当の先生から教えていただいたそうです。このように、伊那市内の小中学校では職場の中で同僚性が自然に生まれています。

この4月には「学級目標」を決める際にスクールタクトを使いました。「どんなクラスにしたい?」「最高学年に向けてがんばりたいこと」を自由記述させて「ワードクラウド」で表現するとみんなの大切にしたい言葉が見えてきました。その言葉をもとに目標を考えました。

学級通信もスクールタクトで配布します。そうすることによって、保護者のICT活用教育への理解も深まります。GIGA school構想が保護者の皆さんにもわかりやすい形で伝わります。

スクールタクトのHPにも紹介されている「書写」の実践



伊那市では、「学校教育情報化ビジョン2021」をもとに、iPadを導入して「ICT活用教育」を推進しています。

伝統的
学びを深めるICT活用

先進的
学びに導くICT活用

「Society5.0」時代の
学びを支える教員

個別最適な学び・対話的学び
創造性を育む学びの実現